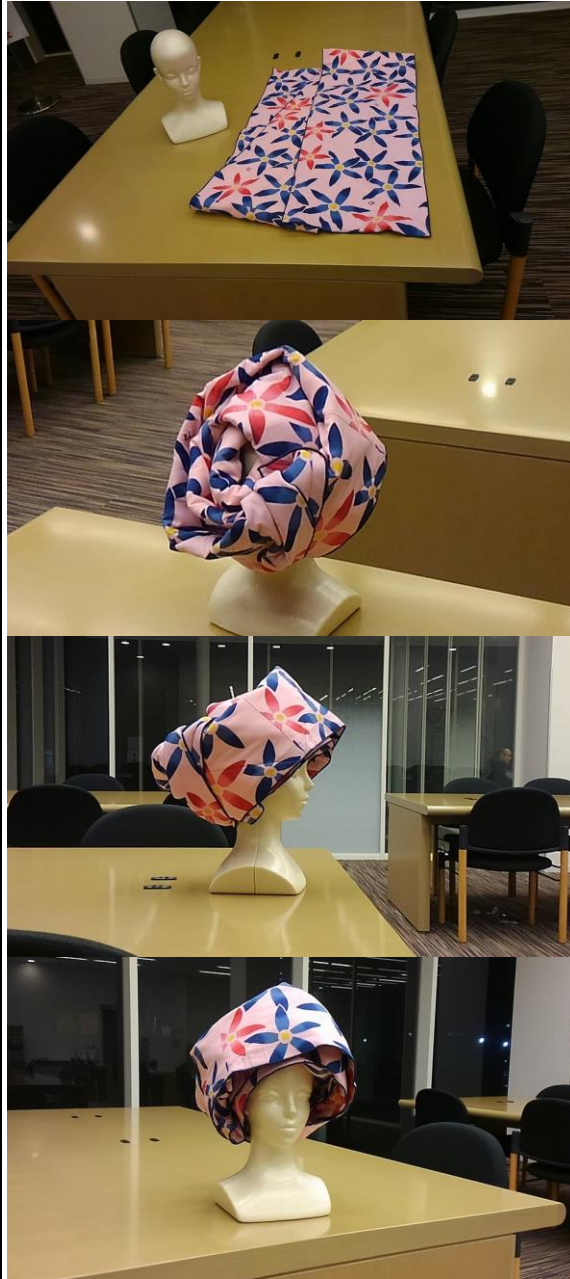


平成27年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	宇都宮共和大学
団 体 等 名	内藤マーケティング論ゼミ
学生代表者氏名 (所属・学年)	大貫 裕介 (シティライフ学部・3年)
責任教職員氏名	内藤 英二 教授

1. 事業名	ターバン型ヘルメット『ターメット』試作品製作
2. 実施時期	平成27年6月30日～平成28年3月31日
3. 実施場所	宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス (宇都宮市大通り1-3-18)
4. 事業の内容等	<p>ターバン型ヘルメット『ターメット』の試作品を製作した。 試作品品完成までの経緯は以下の通り。 2015年6月 宇都宮短期大学附属高等学校生活教養科より宮染め和布の 寄贈を受ける。(3種類3枚ずつ計9枚)</p>  <p>2015年7月 ゼミ学生による宮染め和布の選定を行う。</p> 

- 2015年9月 内装衝撃緩衝材としてアラミド繊維のケブラーを調達
第1回目（ケブラー製エプロン1着、通信販売）
- 2015年10月 縫製業者有限会社真岡屋（社長水沼成人氏）に宮染め和布と
ケブラー布地を送付。試作品製作に向けての素材の確認を
依頼する。
- 2015年11月 ケブラー追加発注（エプロン4着、通信販売）
11月6日：有限会社真岡屋宛に試作品製作の正式依頼文書とケブラー
を発送。
11月26日：試作品完成・納品



5. 事業の成果と今後の課題

【事業の成果】

ターメット試作品製作事業を広く周知させ、併せて、安全性確認のために専門家・専門機関からの助言・情報提供を得る目的で、研究会参加や展示を3回実施した。

(1) 大学コンソーシアムとちぎ「学生&企業研究発表会」参加
(ポスター展示)

日時：2015年11月28日（土）

会場：宇都宮共和大学シティライフ学部宇都宮シティキャンパス
本館1階エントランスホール

テーマ：「高校生をターゲットとした自転車用ヘルメット装着率向上計画」



(2) 宇都宮共和大学シティライフ学部「学生提案成果報告会」出展

日時：2016年3月5日（土）

会場：宇都宮共和大学シティライフ学部宇都宮シティキャンパス
本館4階エレベーターホール



(3) 宇都宮共和大学・宇都宮短期大学「わくわく春の大学体験講座」
シティライフ学部紹介展示資料

日時：2016年3月25日（金）

会場：宇都宮共和大学・宇都宮短期大学長坂キャンパス
5号館5階ホール



【今後の課題】

上記研究会等への参加・出展によって来場していた専門家の方々より、次のような意見をいただいた。今後はこうした意見を参考にさらに、改良を加えていきたい。

(1) 衝撃緩衝材の素材の再検討

①ケブラーは入手経路が公的機関に集中しており、民間レベルで布地を大量に調達することが困難で、価格も高価である。

このため、今回の試作品製作では、ケブラー製の安全エプロンを5着通信販売で購入して、ケブラーの布地を調達しなければならなかった。

②ケブラーは引き裂き強度に優れているが、衝撃緩衝、吸収素材としては優秀性に欠ける。

③ケブラーに代わる衝撃緩衝・吸収素材の採用が望まれる。

(2) デザインについては、本来のターバンのように頭に巻けるようにシルエットにも配慮すべきである。

(3) ヘルメットの代用品であるという製品の概念から離れてはどうか。

『ターメット』という独自の史品として開発を進めるべきである。

(4) 試作品製作の過程で、製作を委託した(有)真岡屋の水沼社長をはじめとする縫製業の専門家から、高齢者や障害者用の転倒防止用プロテクターとしての製品化のアイデアが出された。今後はこうした自転車用以外の用途についても、検討をしていく予定である。

(注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。

報告書(添付書類を含む)はA4判5枚以内にまとめてください。

3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生生活動支援事業に役立てていきたいと思っております。